

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		2-	4
事業名	鉄道事業費	会計	款	項	目
		一般	2	1	12
施策	1 安全・安心なまち	課名	政策課		
	1-2 住みやすいまちをつくる	係名	政策係		
	1-2-2 道路・公共交通網の整備				
主要施策	④ 公共交通機関の充実				

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	通勤・通学者と高齢者、障がい者等の交通弱者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	通勤・通学者と障がい者等の交通弱者が、公共交通としての鉄道を利用して、移動ができています。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>北勢線事業運営協議会の設置</li> <li>北勢線事業運営維持費への補助</li> <li>三岐線鉄道軌道安全輸送設備等整備事業への補助</li> <li>三岐線鉄道施設安全対策事業への補助</li> </ul>			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
	1	北勢線利用者数		2,571,828	2,551,724	2,006,168	人	↑
2	◆公共交通機関 (三岐鉄道、路線バス、コミュニティバス) 満足度	次回アンケートで把握 (H27 29.3)		次回アンケートで把握 (H27 29.3)	22.4 (R元年10月)	%	↑	
3								
4								
5								
				令和元年度 (決算)	令和2年度 (決算)	令和3年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B					62,113	59,660	62,294	
財源内訳	直接事業費 A				50,233	47,912	50,546	
	うち一般財源				50,233	47,840	50,474	
人件費 (千円) B					11,880	11,748	11,748	
内訳	一般職員 (人・千円)			1.8	11880	1.78	11748	1.78 11748
	臨時職員 (人・千円)			0	0	0	0	0 0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	D 国・県・広域自治体で担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	通勤定期での利用者の増加に向けて、広域的に取り組む。長期的で計画的な事業を進める。	③取組の課題	コロナ禍での支援方針として、国、県への陳情支援を行いつつ、今後の利用者回帰への取り組みが急務となる。
②R2年度に実施した取り組み	コロナ禍の中で学校の休校やテレワークの促進、イベント等の中止が相次ぐ中、利用者数の減少とともに売り上げも減少となった。	④今後の改善計画	利用者数の増加とともに、大きく減少している観光需用の増加を広域的に取り組む。また次年度からの支援方針を2市とともに検討する。